

令和5年度 第3回府中市移動等円滑化促進方針等推進協議会

議事要旨

■日時：令和6年2月9日（金） 14時00分～15時45分

■場所：府中駅北第2庁舎 3階会議室

■出席者：21（名簿順）

江守央委員、大門創委員、濁澤雅委員、岩澤貴顕委員、柏木洋祐委員（代理：西森氏）、高橋秀行委員、杉田美千代委員、大森隆委員、武山信幸委員（代理：黒木氏）、渡利篤史委員、中原幹委員、野田和彦委員、河井文委員、高野淳子委員（代理：浅野氏）、野村忠良委員、成川綾委員、阿部真子委員、土方康志委員、荒金恵一委員、高野佳子委員、松村秀行委員

■欠席者：3名（名簿順）

倉科大地委員、高須都子委員、森登美江委員

■事務局：4名

高橋都市整備部次長、松本計画課交通企画担当主幹、山下部計画課交通企画担当主査、小野崎計画課主任

■オブザーバー：3名

古塩地域福祉推進課課長、土橋地域福祉推進課課長補佐、藤野地域福祉推進課事務職員

■傍聴者：0名

■議事次第：

1 開会

2 議事

- （1） 報告事項：バリアフリーアンケート調査・地域懇談会結果の概要について
- （2） 審議事項：府中市バリアフリー基本計画（仮称）の構成について
- （3） 審議事項：移動等円滑化促進地区日常生活圏域別バリアフリー化方針について
- （4） 審議事項：生活関連施設・生活関連経路等の設定について
- （5） 審議事項：まち歩きワークショップの実施について
- （6） 審議事項：来年度の進め方について

3 その他

4 閉会

■配付資料：

- （1） 次第
- （2） 委員名簿
- （3） 資料1 バリアフリーアンケート調査・地域懇談会の結果概要
- （4） 資料2 府中市バリアフリー基本計画（仮称）の構成
- （5） 資料3 移動等円滑化促進地区 日常生活圏域別バリアフリー化方針
- （6） 資料4 生活関連施設・生活関連経路等の設定

- (7) 資料5 まち歩きワークショップの実施概要（案）
- (8) 資料6 来年度の進め方
- (9) 令和5年度第3回府中市移動等円滑化促進方針等推進協議会 資料修正表（当日配布）

■議事要旨：

1 開会

- ・事務局挨拶
- ・配付資料の確認
- ・新任委員挨拶
- ・傍聴希望者なし

2 議事

(1) 報告事項：バリアフリーアンケート調査・地域懇談会結果の概要について

- ・事務局より資料1を説明

○会長：

ただ今の事務局の説明について、ご意見・ご質問等ございましたらお願い致します。

○委員：

第1回と第2回の地域懇談会に参加しました。参加した感想としては、アンケートとは違って、地域の方と直接意見交換をできたのは非常に良い機会でした。来年もワークショップがあるということですので、実際に現場に赴いて、意見収集する方法は非常に良いと思います。

○事務局：

地域懇談会にご参加いただいた市民部会の委員の皆様、また関係団体の皆様には改めて感謝申し上げます。ご意見いただいたとおり、直接皆様と意見交換できたことは非常に良い機会になりました。来年度も引き続きご協力をお願い致します。

○委員：

第2回と第3回の地域懇談会に参加しました。1班5～6名に分かれて、障害当事者や健常者、市職員、コンサルタントとともに机上の地図を用いて、具体的な場所を示しながら意見交換する形式は非常に分かりやすく、非常に良い機会になりました。ありがとうございました。

○会長：

相互の勉強会という意味でも非常に効果的な機会だったかと思います。このような意見交換会を3回開催するということがありなく、エリアを網羅的に抑えたことも評価できます。

○副会長：

第1回に参加させていただき、ご意見を基に今後の計画に活かしていただきたいと思います。

第2回と第3回に参加していないため、他エリアのご意見を把握していません。全体を通じて何か特筆すべき事項や傾向等が分かればご紹介いただきたいと思います。

○事務局：

鉄道駅のあるエリアについては、鉄道駅や駅周辺の道路に関するご意見が多く挙げられている印象です。鉄道駅がないエリアでは、歩道の狭さや凹凸等の道路状況に関する点や交通安全に関するご意見が多い印象でした。ハード整備はもちろんのこと、道路の安全な横断のためのソフト面の対応や心のバリアフリー等が必要であるということを事務局としては認識したところです。

○会長：

アンケート調査結果の内容については、第2回協議会で提示している結果も含めて各人で改めてご確認ください。

地域懇談会の参加者の内訳を教えてください。また、これまで実施してきた中で課題等があれば教えてください。

○事務局：

全ての日常生活圏域を対象として、各エリアに関係する当事者団体の方にお声がけいただき、基本的には全エリアで一定程度の関係者にはご参加いただけたという認識です。

地域懇談会の参加者の内訳は次のとおりです。

第1回目：有識者2名、当事者団体・当事者9名、わがまち支えあい協議会4名、他3名（計：17名）

第2回目：当事者団体・当事者2名、わがまち支えあい協議会7名、他5名（計：14名）

第3回目：当事者団体・当事者7名、わがまち支えあい協議会5名、他4名（計：16名）

課題として捉えている点は、当事者参加で進めているものの、障害者団体等の方にはご参加いただいた一方で、時間の関係上、子育て世代にご参加いただけていない状況です。今後は参加しやすいよう配慮が必要と考えています。

○会長：

来年度にはまち歩きワークショップがあるため、その際に活かしていただきたいと思います。

それでは、次の議題に進めます。

（2）審議事項：府中市バリアフリー基本計画（仮称）の構成について

・事務局より資料2を説明

○会長：

ただ今の事務局の説明について、ご意見・ご質問等ございましたらお願い致します。

○委員：

予算的な位置付けはどうなっているのでしょうか。計画を実現する上で予算が確保できていなければ、意見をお伝えしても限界があるのではないかと考えます。

○事務局：

整備等に関する予算措置の考え方については、本基本計画策定後には「特定事業」を位置付けていくこととなります。例えば、道路整備であれば道路管理者、公園整備であれば公園管理者、鉄道駅の場合は各鉄道事業者というように、各施設設置管理者に事業を依頼していくこととなります。この際、行政の予算に関しては特定事業の中で設定した事業スケジュールに沿って予算配分していくこととなります。

○委員：

予算状況によって、基本計画の予算措置も左右されるということによろしいでしょうか。

○事務局：

予算状況も当然関係すると思いますが、特定事業を位置付けることで、バリアフリー関係の予算の優先度が上がるというメリットがあるため、予算措置はしやすくなると思います。

○会長：

内容についてご了承いただきましたので、次の議題に進めます。

（3）審議事項：移動等円滑化促進地区日常生活圏域別バリアフリー化方針について

・事務局より資料3を説明

○会長：

ただ今の事務局の説明について、ご意見・ご質問等ございましたらお願い致します。

○委員：

各エリアの地区概要の「生活関連経路延長」が全て調整中となっていますが、資料4では「生活関連経路の設定条件」では「優先的に設定しました」と記載があります。ある程度設定方針が決定しているから2ページ目に生活関連施設・経路の位置を示す地図が添付されていると思っています。現在の設定状況を教えていただきたいです。

○事務局：

ご指摘のとおり、地図上に仮の生活関連経路を表記していますが、生活関連施設は一部決定していないため、調整中としています。

また、事務局内で生活関連経路延長を表記するかどうかについても検討中となりますので、最終的には記載の必要性も含めて検討していきます。

○委員：

資料4の地図は設定案ということでしょうか。

○事務局：

そうです。

○委員：

各エリアの「現状と課題」において、アンケート調査結果や地域懇談会のご意見を踏まえた簡素な課題表記となっていると思いますが、このような表記が一般的なのでしょうか。私自身、他自治体の計画等を確認したところ、自治体によってはもう少し具体的に記載されているところもありました。重点整備地区における詳細事業については第5章の中で記載していくことになると思いますが、見解を会長にお伺いしたいです。

○会長：

基本的には今回提示いただいた内容で問題ないと思います。冒頭の中で詳細なご意見が出てきている点も踏まえるとシンプルに見えてしまいましたが、「エリア別方針」を踏まえて具体的に事業計画を設定し、実施していく流れになるため、方針で細かく表記しすぎると後々齟齬が出てきてしまう恐れもあります。提示いただいた方針を見ますと非常に高い志を持って設定しているのではないかと評価しています。

○事務局：

簡素に見えてしまう部分もあると思いますが、この方針に基づいて具体的に市全域における各事業者へのバリアフリー化の促進のための配慮事項を設定していく予定です。一方で、記載方法についてご提案等ございましたらご意見いただきたいと思います。

○委員：

白糸台福祉エリアのように具体的に道路名を表記している一方で、課題が多数出てくるエリアでもある中央福祉エリアのように「一体的で整備」とすると簡素に感じてしまいました。会長よりこういうものである旨を教えてくださいましたので、このままで問題ありません。

○委員：

「生活関連経路における歩行環境の安全性・利便性の向上を促進」という方針について、問題はありませんが、全エリアに共通する点かと思います。

自転車通行帯の設定場所や電動車椅子の通行幅を考慮した歩道幅員の確保に加え、最近では電動キックボードの利用者の増加に伴う安全性確保等について、計画の中でどのように反映していくのか教えて

いただきたいです。

○事務局：

電動車椅子は歩行者扱いとなりますが、電動キックボードは車両扱いとなるため、一義的には交通安全対策として対応することになると考えています。一方で、地域懇談会でも歩道幅員が狭いことにより自転車が通行できないことや自転車のマナー問題に関するご意見をいただいているため、課題として認識しています。計画内での位置付けについては今後検討させていただきます。

○副会長：

基本計画の中にアンケート調査結果や地域懇談会等のご意見をどのように反映させるのかを教えてください。

○事務局：

アンケート調査結果と地域懇談会の結果については、第2章の中に整理した結果を表記していきます。

なお、アンケート調査結果の全項目の結果を基本計画内に含めることは難しいため、ホームページ上に結果を公表することも検討しているところです。

○会長：

内容についてご了承いただけましたので、次の議題に進めます。

（４）審議事項：生活関連施設・生活関連経路等の設定について

・事務局より資料4を説明

○会長：

ただ今の事務局の説明について、ご意見・ご質問等ございましたらお願い致します。

○委員：

生活関連施設に追加いただいた「子ども発達支援センターあゆの子」は今年度で終了し、4月からは「子ども発達支援センター「はばたき」」が新設され、また、教育センターが令和7年4月から東府中に移転すると認識しているため、位置の表記方法を検討いただいた方が良いでしょう。同様に、基本計画策定までの令和7年4月までに生活関連施設の閉鎖や移転に伴い、生活関連経路が変更となる場合、どのように対応されていくのでしょうか。

○事務局：

ご指摘の点は修正させていただきます。基本計画の策定が令和7年3月を予定しているため、その時点の最新版となるよう整理していきます。

○副会長：

今回、協議会等のご意見を踏まえて生活関連施設を追加いただきましたが、同様に生活関連経路で追加した経路はあるのでしょうか。

○事務局：

手元に詳細資料がないため把握できていませんが、基本的には、「生活関連施設間を結ぶ経路を対象とする」として設定していくため、ご意見等を踏まえて追加した施設間を結ぶ経路の追加はしています。

○大門副会長：

地域懇談会では課題がある道路について、地図上に具体的な位置が示されていましたが、そこは反映されているのでしょうか。

○事務局：

確認した上で議事録の送付と合わせて共有させていただきます。

○委員：

第2回協議会でお伝えし忘れてしまった点があります。難しいとは思いますが、朝日町にある「けやきの森学園」は追加可能でしょうか。「障害者等が日常生活で利用する施設」という条件を踏まえた場合、けやきの森学園はバス通学となるためにバス停から施設周辺のバリアフリー化が求められてきますが、「日常生活での利用」とは違うようにも感じています。

○会長：

位置関係的に反映は難しいようには感じます。重要度の高い重点施設は特別に反映する場合もありますが、事務局の見解はいかがでしょうか。

○事務局：

けやきの森学園に関わらず、全体的に「学校」を施設対象から外して検討している状況ですが、会長のおっしゃる「重要度の高い施設を位置付ける」という考え方もあると思いますので、基準等と照合しながら事務局内で検討させていただきます。

○会長：

1番は安全の確保になると考えます。他施設とのバランスを見ながら指定できるものがあれば追加いただく流れになると思います。

○委員：

分倍河原駅の再開発が予定されていると思いますが、その点との整合性について考え方を教えていただきたいです。

○事務局：

分倍河原駅周辺では、まちづくりと一体的な駅舎の改良工事が予定されています。この点については、資料3の片町福祉エリアの課題1に「まちづくりの状況を踏まえた、面的・一体的なバリアフリー化が必要」と表記しており、方針としても駅周辺の面的・一体的なバリアフリー化を促進するよう設定しています。担当部局と協力しながら一体的なバリアフリー化が図れるようにしたいと考えています。

○会長：

ぜひ横断的な計画を進めていただきたいです。基本計画内にも「当事者参加で検討している」ことを盛り込めると良いと思います。

内容についてご了承いただけましたので、次の議題に進めます。

（５）審議事項：まち歩きワークショップの実施について

・事務局より資料5を説明

○会長：

ただ今の事務局の説明について、ご意見・ご質問等ございましたらお願い致します。

○委員：

まち歩きワークショップの開催日程が平日の午後に設定されていますが、当団体の子ども達は通所施設に通っているため、3時から4時頃に帰宅することになります。通所先を早退させて参加した方が良いのか、親のみ時間を限定して参加した方が良いのか、参加方法について教えていただきたいです。

また、府中駅周辺については、北府中駅から中央文化センターまで距離があるため、移動が大変ではないでしょうか。

○事務局：

地域懇談会の際も同様の状況であったことは認識していますが、可能な限り当事者の方にもご参加いただきたいと思います。難しい場合は個別でご相談させていただきます。

北府中駅から中央文化センターまでの移動方法については、事務局で検討します。

○委員：

時間的に子育て世代の参加も難しいのではないかと考えます。特に、4月上旬は小学校の始業式に近い日程のため早帰りの関係もあり、さらに難しくなりますが、欠席となる場合、子育て世代の意見はなしとなるのでしょうか。

○事務局：

子育て世代の皆様にもぜひ参加いただきたいところですが、基本計画の作成スケジュールが詰まっている状況のため、子育て世帯の参加が難しい場合は個別に相談させていただきたいと思います。

○会長：

途中退出等は仕方ないところではありますが、当事者参加で実施できると意見交換も活発になりますし、その場で情報を共有できる方が良いと考えます。開催方法については、事務局内で再度ご確認ください。

○委員：

雨天時は延期の方が良いのではないのでしょうか。聴覚障害者の場合、傘を差しながら手話で通訳者とやりとりしなければいけないため、参加が難しくなります。車椅子の方や視覚障害をお持ちの方も雨天時は大変かと思いますので、延期の方が良いと思います。

○事務局：

ご指摘のとおりのため、雨天の場合の中止も検討していきます。一方で、計画策定スケジュールの関係で4月上旬の開催が必須となるため、事務局で改めて調整させていただきます。

○会長：

聴覚障害をお持ちの方にとっては、雨天時にどのような配慮があればご参加いただけるのでしょうか。雨天時だからこそ気付く視点もあるため、折り合いをつけて検討していきたいと思います。

また、まち歩きワークショップの開催にあたり、交通事業者や民間事業者の皆様にも見学場所としてご協力いただくことが出てくると思いますので、参加も含めてよろしくお願い致します。

○委員：

延期する予定があれば、土日祝日を含めていただけると子育て世帯は参加しやすくなるため、検討いただきたいと思います。

○事務局：

検討して改めてご報告させていただきます。

○会長：

ご意見を踏まえて事務局で調整させていただきたいと思います。皆様には年齢層も含めて幅広い方に参加を請いただけようをお願い致します。

内容についてご了承いただけましたので、次の議題に進めます。

（6）審議事項：来年度の進め方について

- ・事務局より資料6を説明

○会長：

ただ今の事務局の説明について、ご意見・ご質問等ございましたらお願い致します。

○委員：

届出制度の概要を教えてください。

○事務局：

資料上では令和5年度に提示することになっていますが、届出制度については現在検討中です。

概要としては、移動等円滑化促進方針の中の1つの制度として設定する制度で、例えば鉄道駅と接続する道路の境界部を改修する際に、事前に改修工事の内容を市町村に届け出てもらい、マスタープラン制度に則った内容になっているか確認できる制度になります。この制度により、施設間の連携が可能になり、面的なバリアフリー化を促進することができるようになります。

○委員：

資料2では令和7年3月に策定とありますが、令和7年11月にデフリンピックが開催される関係で、市内の当該施設周辺の道路のバリアフリー化を図る予定はあるのでしょうか。

○事務局：

市内施設がデフリンピックの対象施設に指定されていますが、担当課の方で市の事業内容についてとりまとめており、まだ正式に公表されていない状況です。

○会長：

私自身、デフリンピックが来年開催されることを初めて知ったので、協議会内でも情報共有すべき重要な事項かと思います。今後も何か情報があればご報告いただきたいと思います。

内容についてご了承いただけましたので、次に進めます。

3. その他

- ・事務局より審議事項でいただいたご意見について検討していく旨を説明

○会長：

アンケート調査結果の概要のうち、心のバリアフリーや情報のバリアフリーの認知度の結果が気になっています。「心のバリアフリー」が実際にどのようなものか自身でも認識できているか言い難いため、相互理解を図ることを大前提として、相手の権利をどうとらえていくかについても認識いただけるのかについても気になります。

また、情報のバリアフリーも約4割の方が理解されているとのことですが、本当に理解されているのか、必要とする情報は何か、詳細が分かると良いと思いました。

重点整備地区を促進地区上に重ね指定するということは非常に良い取組かと思っています。意欲的に促進地区を設定する姿勢に敬意を表したいと思います。引続き、皆様のご協力の元、府中市をより良いまちにしていきたいと思いますので、よろしくお願い致します。

こちらをもちまして、第3回協議会を閉会いたします。

4 閉会

以上